



2010.2.5

No. 193

MONTHLY

れんごう

北海道

http://www.rengo-hokkaido.gr.jp

毎月5日発行 定価1部10円(組合員の購読料は組合費に含む)  
1996年3月8日第三種郵便物許可

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会 発行責任者 村田 仁  
〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

## 連合北海道 結成20年を迎える

### 記念の式典と祝賀会を開催

連合北海道は、2月1日、結成20周年を迎え記念の式典と祝賀会を行った。

記念式典では、これまでの連合運動に寄与されてこられた46名への表彰が行われ、表彰者を代表して渡辺健一元連合北海道会長が謝辞を述べた。

引き続き記念レセプションが執り行われ、構成産別・地協はもとより、連合本部、各自治体首長・議長、経済団体など各界から約600名が参加した。

主催者として挨拶した高柳連合北海道会長は、「昨年、歴史的な政権交代が実現し、地域での政策実現に向け、今まで以上に国・道・市町村に政策要求や提言を行う役割を果たさなければならない」と、更に連合北海道

の運動を高めていく決意を述べた。

続いて古賀伸明連合会長、高橋はるみ北海道知事、上田文雄札幌市長、小川勝也民主党北海道副代表か



ら来賓として祝辞をいただき、小樽田中酒造のお酒による鏡開きが行われ、祝賀会が始まった。

弦楽四重奏が流れる中、会場の方々に歓談がなされ、和やかに祝賀会が進み、最後に今後も連合北海道を発展させていくことを誓い、祝賀会を終了した。

この記事のアドレス [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2010/monthly\\_new\\_2010\\_0201\\_20th-anniversary.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2010/monthly_new_2010_0201_20th-anniversary.html)

## 新卒就職支援、雇用維持・創出

### 全道キャンペーン始まる

新規学卒者就職支援、雇用の維持・創出全道キャンペーンの取り組みが全道のトップを切って1月29日函館において行われた。

本年における新規学卒者の就職支援と雇用環境の改善に向けた取り組みとして位置づけられた取り組みは、連合北海道と地区連合が一体となって進められたもので、函館においては渡島支庁・経済団体・函館市・ふるさと雇用再生特別基金委託事業所等々を対象に、ヒアリングを基本に具体的展開が行われた。

厳しい北海道の中でも、第一次産業と中小企業、更

には観光事業が中心の道南においての雇用環境はより一層厳しいものであり、どこに行っても苦しい現状が訴えられた。

様々な施策が打たれているものの、現実には十分に生かされていないものもあり、担当する人的配置も苦しい中では思うように手が回らない現実や、積極



的に要請行動を展開しても、受け止める企業は新規採用よりも現行の雇用環境の維持を基本としているギャップや様々な制度の使いづらさ、手続きの複雑さが見受けられるとの声も上がっていた。

また、行政としても知恵を絞りながら将来に結び付く施策を打ってはいるものの、国政における事業仕訳で予算削減させられた現実の厳しさに悩んでいる現状も明らかとなった。

道南における管内企業への就職内定率は42%にとどまっており、新卒採用企業に対する補助金交付制度を設けて対策は講じているものの思うように成果が上がらない現実。また、今年度は道内・道外からの求人も低迷しており、特に道外からの求人について昨年と比して42.9%減少するなど、働きたくても働く場所を見つけることの難しさも明らかとなった。

経済団体を訪問した際には、役員の方からは「今の道南は危機的な状況に陥っている。自己防衛意識が強い。変化させるための努力と対策は積み重ねているが、企業側も気持ちのデフレでは」との表現がされるなど、企業の側に余裕がなければ何をやっても難しい状況であり、様々なメニューが生かし切れていない状況から早く脱皮をしなければとの切ない思いを受け止める内容であった。

今回の行動の展開は、厳しい現実の中でもそれぞれが任務をいかに全うし、新政権に対する期待感を持ちつつ閉塞感の中で手をこまねいているのではなく、何かをしなければならぬことの重要性和、現実の厳しさを改めて痛感した取り組みでもあった。

この記事のアドレス [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2010/monthly\\_new\\_2010\\_0129\\_employmentcampaign\\_hekodate.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2010/monthly_new_2010_0129_employmentcampaign_hekodate.html)

## 函館市へ次年度予算・政策に関する要請

渡島・函館地区連合

渡島地協・函館地区連合は、1月8日に2010年度函館市予算・政策に関する要請行動を行った。例年は12月に行っていたが、定期総会終了後の諸行動や函館市長との日程調整が難航し、結果として予算編成時期の1月にずれ込んだもの。

要請は連合渡島地協・荒木会長以下、副会長、事務局長、副事務局長等々9名が参加。冒頭、荒木会長が西尾市長に要請書を手交したのち、荒木会長より「厳しい北海道の経済環境下で、函館市は更に険しい状況下にある。雇用・景気対策をはじめとして多岐にわたる要望となっているが、働く者の生の声として受け止め、改善に向けて函館市としての最善の努力をお願いしたい」と、函館市の現状の中で一生懸命汗水を流す労働者の声を伝えた。

これに対し、西尾函館市長は、「日本全体が経済的にも社会的にも厳しい状況下が続いている。その中で昨年は衆議院選挙において政治が変わり大きな期待をしているが、2～3年は我慢の時期と受け止めている。その

中で、函館はより厳しい環境と条件下に置かれているが、働く人の安心できる施策を積極的に打ち出して行きたい。要望と政策要求についてはしっかりと受け止め、早急に検討を加えていきたい」と回答。

その後、要求諸課題の特徴的な事項についての意見交換が行われ、厳しい中でも和やかな雰囲気の中で今年度の要求書提出を終えた。

今後は、2月初旬の回答を待ち、内容の点検・分析を行った上で、具体的要求の前進へ向けた部局交渉を展開していくことにしている。

この記事のアドレス [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2010/monthly\\_new\\_2010\\_0108\\_hakodate\\_yosanyosei.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2010/monthly_new_2010_0108_hakodate_yosanyosei.html)



## 支庁制度改革に関する申入れを実施

支庁機能の強化につながる改革へ

連合北海道は12月24日、道に対して支庁制度改革に関する申入れを行い、支庁機能の強化につながる改革に向けた地域との更なる協議を求めた。

申入れの冒頭、連合北海道村田事務局長は、「道として5地域で協議を行ってきたが、総合振興局に移行する広域事務に関して、道と我々、地域住民の間に認識の隔

たりがある。特に喫緊の課題である産業・雇用の問題について迅速な施策の実施に支障が出たり、広域事務が三重行政となり地方の負担増に繋がる。地域が疲弊する中で、支庁の強化が必要な時に支庁機能の低下があってはならない」と強調した上で、「基本フレーム(修正素案)」に掲げられた104項目を協議の前提としない

こと、□ 総合振興局や振興局は必要な機能を維持すること、□ 地域との合意形成なき見切り発車はしないこと、の3点について申入れた。

これに対して高井副知事は、「基本フレームの中で広域事務、総合振興局の権限強化のポイントなどを示し、地域協議も行ってきた。この地域協議についてもこれで終わりということではなく、今後もっと議論を深めていくつもりである。また、基本フレームについても、104項目の広域事務は叩き台でむやみに増やすものではなく、3年間で協議の整ったところから移行するもので、これありきという考えはない。三重行政の懸念についても、機能強化のため、総合局長に権限を付与していく考えで、支庁制度改革を实のあるものにすべく協議を続けていく」と回答した。

村田事務局長は「北海道の開拓の歴史、地域の文化は代々引き継がれてきたものであり、地域の再生こそが今後の発展に繋

がるものである。しかし、昨今では財政論に傾きがちであり、地域を立て直すための議論、協議が不足しているのでは



ないか。地域の強化があっても、縮小をイメージするようなものは受け入れられない。機能が変わらないとすれば、総合局と振興局



に再編する意味も理解できない。また、都合の悪い地域は後回しという知事の姿勢では地域との信頼関係も失われる。」と指摘。また、坪田総合政策局長は「局長の権限強化は地域の首長とともに地域作りを行うためのものであるが、今は信頼関係が損なわれている。知事自らが自分の言葉で語り、もっと住民と向き合うべきだ」と述べた。これに対し高井副知事は「実際に地域の方々からのご意見も伺った。今後も知事はこの問題に限らず、自ら地方に赴くつもりである。」と応じた。

支庁こそが市町村や住民と一緒にあって、地域の実情に合致したきめ細かい行政を考え、展開していくための知事のみであり、耳である。今後も「道民の知恵を集めた」支庁制度改革となるよう、より広範な道民の意見を聞き、慎重な検討と議論がなされるよう求めていく。

この記事のアドレス [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2010/monthly\\_new\\_2009\\_1224\\_moushiire\\_shichoseido.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2010/monthly_new_2009_1224_moushiire_shichoseido.html)

## 石川議員の逮捕に関して事務局長談話

連合北海道事務局長 村田 仁

民主党の小沢一郎幹事長の資金管理団体の土地購入問題で、小沢氏の元秘書であった石川知裕衆議院議員(北海道11区)ら3人が政治資金規正法違反(虚偽記載)容疑で東京地検に逮捕された。

本日招集の通常国会を前にして現職議員を逮捕するに至ったことは唐突感もあるが、政治改革を標榜して政権交代を果たした民主党の現職議員が「政治とカネ」を巡る問題で逮捕され誠に遺憾といわざるを得ない。

国民は政権交代によって国民生活第一の政治を期待していただけに、国民の中には閉塞感と失望感が交錯している。政府が「政治とカネ」の問題を放置しておいて国民の政治に対する信頼は回復できない。

国政をあく政府与党の民主党としては、国民の目線で政治刷新の先頭に立って「新しい政治」の実現を訴えてきた責任がある。国民の前に真相を解明し、「政治とカネ」の問題に対する自浄能力の発揮

は勿論、国民の信頼回復に努めていくべきだ。

本日から始まる通常国会の冒頭から、この問題をめぐり国会が紛糾することは避けられないだろうが、経済雇用情勢の厳しさが続く中で生活不安や雇用不安など、国民の暮らしに直結する課題が山積みされている。政府の第2次補正予算案に盛り込まれている雇用調整助成金の支給条件の緩和や住宅版エコポイントの創設、地方交付税交付金の減額分の補填、新年度の当初予算案を3月末までに成立させるなど、景気の下支え策を切れ目なく打っていく極めて重要な局面にある。

このことによって政治の混迷は避けなければならない。ここは国民生活が第一を掲げ政権交代を果たした民主党と鳩山首相の指導力に期待したい。

以上

この記事のアドレス [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/danwa/2010/danwa\\_100118\\_arrest\\_ishikawa.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/danwa/2010/danwa_100118_arrest_ishikawa.html)

# 2010北海道ブロック女性会議開催

産別、地協、地区連合の担当者35名が参加

1月17日、北海道自治労会館において「2010北海道ブロック女性会議」が開催された。

この会議は、例年、全国10ブロックにおいて、春季生活闘争における男女平等推進のための課題を中心に学習するとともに、参加者間の討論・意見交換を目的に開催されている。

今年は、連合本部からオルガナイザーとして片岡男女平等局長・新沼部長を迎え、全道から35名の産別、地協、地区連合の担当者が参加して開催された。

会議のはじめに女性委員会松田委員長は、「男女雇用機会均等法ができてから25年が経つが、女性の労働力率をみると、結婚・出産・子育て期に就業を中断せざるを得なくなり、日本独特のM字カーブとなる。女性をめぐる雇用環境は改善されていない。仕事と家庭の両立ができる環境や諸権利の整備が必要。その多くが女性である非正規労働者の均等待遇などとともに引き続き取り組んでいきたい」と挨拶をした。

連合本部からは、片岡男女平等局長より、春季生活闘争方針の説明とともに、男女間の賃金格差などを例示しつつ、働き続けられる職場環境の整備に向けた取り組みの一つとして、6月30日からスタートする改正育児・介護休業法を取り上げ、春季生活闘争において、職場環境改善の労使協定の取り組みが重要であると提起がされた。

意見交換では、各組織における男女平等参画の状況等において、現状は厳しい面もあるが、このような機会、法律や制度改正の内容を知るとともに、情報を共有しながら取り組んでいきたい。また、少しずつでも取り組みにより職場を変えていきたい等の発言があった。JPからは、女性フォーラム開催の取り組みが報告された。



最後に片岡局長は、「契約社員の方が組合員・担当役員となり、職場の男女平等推進に携わっていることもお聞きした。当事者の参画は大変重要。広い北海道は特に、集結するのは大変と思うが、単組の中では少数であっても、連合として『横』でつながれば大きな力になる。現状を改善し、質を高めて働き甲斐のある職場作りをめざし、途切れずに取り組みを進めていこう」と述べた。

限られた時間ではあったが、一つ一つの積み重ねが大切であり、労働組合として共通の課題を認識し会議を終了した。

この記事のアドレス [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2010/monthly\\_new\\_2010\\_0117\\_joseikaigi.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2010/monthly_new_2010_0117_joseikaigi.html)



## 2月の主な動き

## イベントカレンダー

### 連合北海道20周年記念式典・記念レセプション

1日(月)17:00 / 京王プラザホテル札幌

### 2010北海道ブロック代表者会議

2日(火)10:00 / 京王プラザホテル札幌

### 部門別連絡会議(情報・サービス)

3日(水)11:00 / 連合北海道会議室

### 安全センター理事会

3日(水)13:30 / 連合北海道会議室

### なんでも労働相談ダイヤル

3日(水)10:00 / ~6日非正規

### 部門別連絡会議(資源・化学)

4日(木)15:00 / ほくろウビル会議室

### 組織拡大担当者情報交換連絡会

8日(月)15:00 / 連合北海道会議室

### 部門別連絡会(金属・機械)

10日(水) / 登別

### 女性委員会幹事会

10日(水)18:15 / 自治労会館

### 全道セーフティネットワーク集會

16日(火)14:00 / センチュリーロイヤルホテル

### 春季労使交渉対策セミナー

18日(木)13:30 / すみれホテル

### 第5回中央執行委員会

18日(木)13:30 / 総評会館

### 第5回執行委員会

24日(水)10:00 / 連合北海道会議室

### 第4回地協事務局長会議

24日(水)13:00 / 連合北海道会議室

### 第3回組織財政検討委員会小委員会

24日(水)15:30 / 連合北海道会議室

### 北海道地域ユニオン定期大会

24日(水)18:00 / 恵愛ビル

### 第1回エネルギー・環境政策委員会

25日(木)10:00総合政策

### 2010春季生活闘争討論集會日程

留萌地協 6日・13時より)	上川地協 6日・15時より)
宗谷地協 6日・13時半より)	網走地協 13日・13時半より)
空知地協 6日・14時より)	胆振地協 13日・14時より)
日高地協 6日・14時より)	釧根地協 13日・14時より)
十勝地協 6日・14時より)	後志地協 13日・14時より)